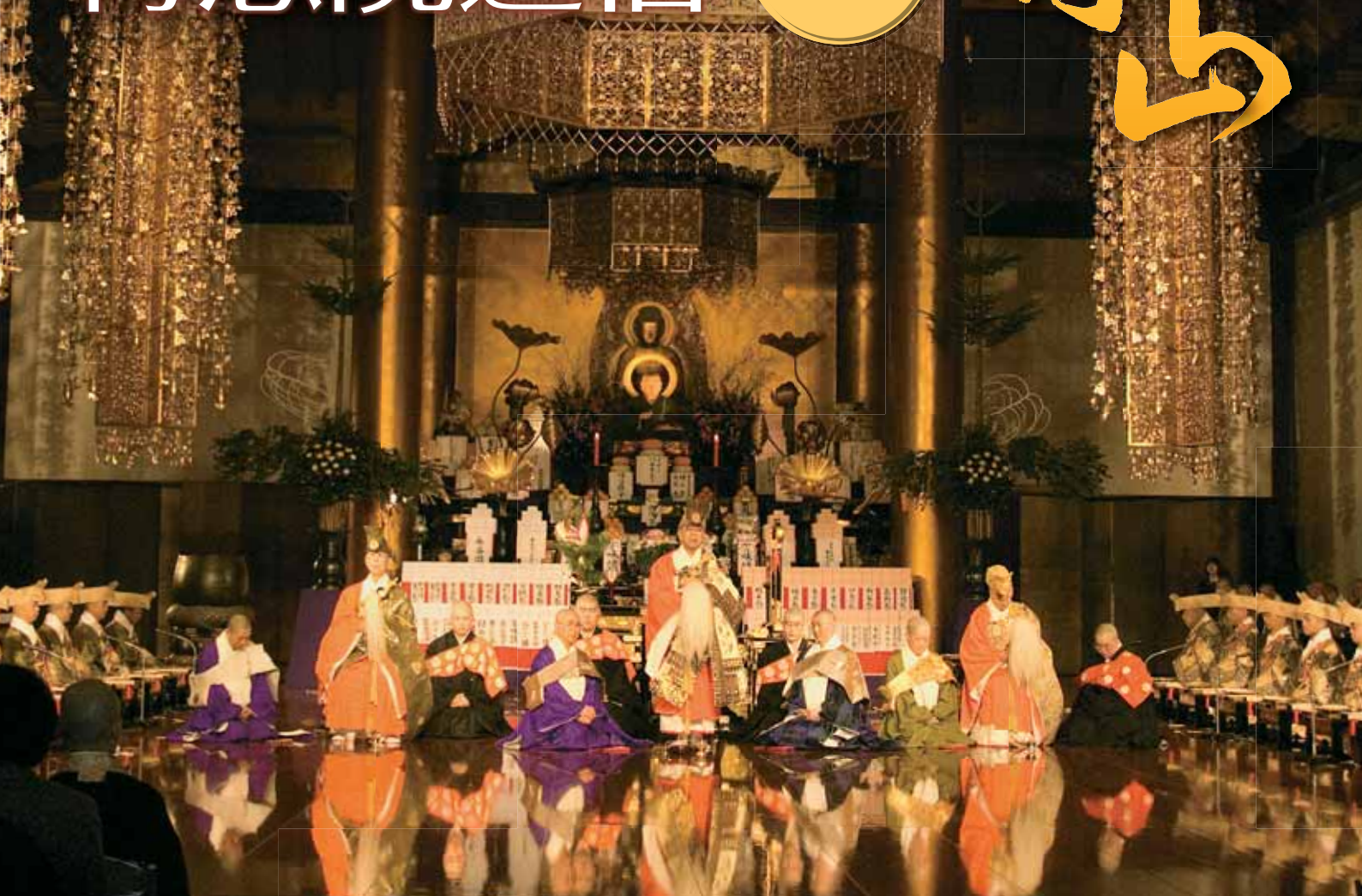


# 梅窓院通信

お盆号  
No.59  
2012/06/01

# 青山



増上寺御忌での三台下法要。右から長野・

台下、芝・増上寺

台下、鎌倉・光明寺

台下。

## 住職挨拶

梅窓院第二十五世

## 中島 真成



早いもので今年も半年が過ぎ去ろうとしています。みなさんお変わりなくお過ごしのことと存じます。

今春は去年の東日本大震災で一年先送りされました法然上人の八百年大遠忌の法要が浄土宗の各総大本山で厳修されました。

私も芝の増上寺では五日間法要に随喜し、京都の清浄華院でも五日間典調という役を務めさせていただきました。桜満開となった増上寺での御忌では、梅窓院の詠唱のみなさんも奉納され、十一日間の記念すべき法要が無事成満いたしました。

また、四月十九日には総本山知恩院で長老という肩書を頂戴することとなり、叙任式に列席させていただきました。一般社会で長老と言え、その村や町の一番年長の人をさし、八十歳、九十歳の年配の方になりますが、知恩院での長老は総本山である知恩院に貢献した僧侶に授与される肩書で、長老から始まり、宿老、一番上の耆宿と続きます。去年はこの叙任式が無かったこともあり、今年は全国で三十五人が長老、四人が宿老、一人が耆宿に叙せられました。ですので、一般社会の長老とは少し違います。ちなみに私は五十五歳です。

さて、この春のお彼岸では郡上の物産展とともに東日本大震災の被災地である気仙沼支援の物産展も併設しましたが、おかげさまで完売し、微力ながら復興へのお手伝いできました。また、今号の梅窓院を囲む人々には陸前高田で被災された当院のお檀家さんにご登場いただきました。ご自宅を流されてしまった さんご夫妻ですが、つらい出来事ながらその時の様子をお伺いできることができました。ぜひお読み下さい。

最後に長期にわたった境内整備が終わりましたことをお知らせいたします。ご理解ご協力、ありがとうございました。

心配りの盆棚飾り

新宿区 香蓮寺住職

勝崎 裕彦

お盆は、日本人の心のふるさとを呼び起こし、いのちのふるさとを呼び覚ます。お盆行事の伝承の中に込められたもろは、日本人が長い間培って育んできたゆかしい精神文化、生活文化の結晶である。まさにお盆行事にまつわる心象風景こそ、日本人の心のありどころであるといえよう。

かつて旧暦時代、初秋陰暦七月は盆の月であった。お盆は、七月十五日の満月の夜を中心とした家々の祭事であり、家族揃って先祖を供養する行事であった。

七月の声を聞くと早々に盆の入りとして、盆支度・盆用意に心を配っている。いろいろな支度をして、お盆の準備をはじめたのである。家の中では、仏壇を掃除して仏具を磨いたりして、盆棚作りの用意をする。またお墓まわりでは、草薙ぎ・路刈りの盆路作りをして、墓掃除をねんごろにする。

お盆を迎える準備は、祖父や父といった男手の重要な役割もあるが、やはり祖母や母といった女手のきめの細かい配慮や注意が大切である。子供たちはそうしたいちいちの支度のさまを見ているのであるが、もちろん兄や姉がよくお手伝いをするのに刺激されて、弟や妹も小さな手を添えることも

あったのである。

来年は米寿母する盆支度 (松本秩陵)

今回は、そうした昔日のお盆準備のありさまを思い返して、盆棚飾りについて点描してみたい。

盆棚は、精霊の供養棚であるから精霊棚・魂棚・玉棚、先祖棚、あるいは空棚などともいう。空棚という呼称は、「四大空に帰す」ことになった死者を祀る棚という意味である。また新盆の精霊、つまり新精霊を祀る棚を新棚・荒棚・初棚などという。

すなわち盆棚とは、お盆の精霊祭・魂祭の祭壇の総称である。位牌を中心に、さまざまな供養の品々を供えて、室内などに特別に設ける供養棚である。菩提寺の僧侶が、お盆中にこの棚の前で読経供養することを棚経というのである。

盆棚の形状や飾り方、供え物の種類などは日本全国各地のならわし・きたりがそれぞれあり、一概に説明することはなかなかむずかしい。ここでは一般的なありようを記してみる。

台状の棚に真菰の蓆を敷いて、正面に先亡の位牌を並べる。茄子や瓜の牛馬を立て供え、蓮の葉を敷き、溝萩や玉箒の枝を水に浸して、水向け・手向

けとする。棚の四隅に葉のついた青竹を立て飾り、その四面上部に菰縄を結びめぐらして、とくに中央前面に盆花や酸漿や瓢箪などを懸け飾り、さらに杉の青葉で四囲を籬に飾れば、まことに伝統に則した本格的な盆棚となる。

私も小さい頃、茄子や瓜に苧殻(麻幹)の足をつけて、盆支度の小さなお手伝いをした覚えがある。私の生まれ育った地方では茄子の牛、瓜の馬と呼ばれていた。迎え盆に、精霊が馬に乗って早く来られますように……、送り盆に、精霊が牛に乗って遅く帰られますように……、そういう願いが込められていると教えられたことである。

魂棚の前に飯喰ふ子供かな (鳴雪)

内藤鳴雪の句の中に、子供の頃の自分を思いつかんだ次第である。

さて盆棚に供えられた食べ物、そして飲み物——祖母や母の習いの飲食を、妻が心を込めて料理して供えたものである。今は亡き精霊とともに飲食を食べ合うのである、飲み合うのである。かつて食卓を囲んでなかよく食べ合ったように、飲み合ったように、お盆祭りの夕景に、先祖の精霊と一緒に過ごす供養膳である。

(大正大学教授)

行事報告

法要



寄席

平成24年春彼岸法要 3月20日(火)



19日、20日と物産展を開催致しました。



増上寺詠唱大会 4月10日(火)



増上寺大殿にて

はなまつり 4月6日(金)~8日(日)



花御堂

団体参拝旅行 4月20日(金)~21日(土)



大樹寺



於大まつり

# お盆

## 七月十三日(金)

盂蘭盆会法要 — 午前十時半 — 地下二階 祖師堂

# 御棚経

## 七月十三日～十六日

※新盆で希望する方のみ

なお、棚経については同封の別紙「お盆について」をご覧ください。また、不明な点がありましたら梅窓院法務部へお問い合わせ下さい。

### 回向料のお申込み方法とお知らせ

#### ◆盂蘭盆会 回向お申込み方法

**回向紙** 御回向料 …… 1枚 / 3,000円

- ・同封の回向紙にご記入の上、受付へお持ち下さい。
- ・一枚につき、一霊の御回向とさせていただきます。
- ・お導師さまの御回向は新盆の方のみとさせていただきます。

**御塔婆** 御回向料 …… 1本 / 7,000円

- ・御塔婆をご希望の方は、受付までご連絡下さい。
- ・御回向料は、同封の振込用紙で郵便局にてお支払頂くか、受付までお持ち下さい。(銀行・コンビニでのお支払いは出来ません。)
- ・御塔婆のお申込みは7月1日(日)までに受付にご連絡下さい。

### お盆に寄せて

学校の先生にクレームをつける。モンスターペアレントの言葉もよく耳にします。我が子への思いが行き過ぎると問題にもなってしまう。もちろん自分の子供は可愛い。でも、他の子も、それぞれの親にとっては可愛い掛け替えの無い子供なんですよね。そんな社会問題はいつの時代もありました。遠い昔、お釈迦様もお盆の故事により戒められました。自分の子だけを可愛がり、他人の子には全く目もくれず、餓鬼の世界に落ちてしまった目連尊者のお母さんの話です。このことは何も親から子への執着の話だけではありません。日常の私達の執着の戒めです。

先日、ご縁を頂き「にんげんだもの」で著名な、相田みつを展に行きました。その中で、コラムの「坦板漢」という言葉が目止まりました。

中国の諺で、板をかついだ人が、片側しか見えなくなる様子から、物事の一面だけを見て全体を見ることができない人の喩です。

どうでしょう。日常生活をしていても、仕事だからと他の人の迷惑を気にせず作業する等。つつい自分中心に物事を考えがちですが、周りの人達も同じように何かに一生懸命なのです。その周りのことに気付き、相手の立場に立つのが慈悲の心、仏の教えです。その中でも最も尊いことは、無縁の方への慈悲の心です。これこそがお盆の御教えです。震災後のテーマは絆。家族はもちろん、少し周りに目を向けて、無縁の方にも目を向けられるような、より良い生活を共に送ろうではありませんか。

(法務部 西沢)

# 法然上人八百年御忌特集

昨年三月の東日本大震災で、一年延期となった浄土宗の宗祖法然上人の八百回忌の法要が、この四月に全国の浄土宗総大本山で厳修されました。

芝・増上寺では、増上寺・光明寺(鎌倉)・大本願(長野)の三台下が一緒に法要の導師と脇導師を務められるという珍しい法要が厳修されました。また、八百年という区切りの特別な御忌でもあり、十一日間という長い日程でいろいろな行事が行なわれました。梅窓院も住職はもちろん、詠唱の奉納、そして梅窓院の僧侶も行事に関わっています。

また、中島住職が総本山知恩院から「長老」という肩書を叙任されたので、併せてお伝えします。



上／詠唱を増上寺阿弥陀如来様の前で奉納し終えた梅窓院詠唱会のみなさん。満開の桜がまさに花を添えている。

左下／芝増上寺で雅楽を奏でる梅窓院の蔵澤彦上人。

右下／京都知恩院での法要に随喜する梅窓院の西沢正彦上人。

念仏を称えれば阿弥陀様が必ず極楽浄土へお迎えくださる——。

鎌倉仏教の先駆者となった法然上人はこの教えを庶民に広め、浄土宗の宗祖となりました。その法然上人の御徳は広く、そして後世にまで伝わり、法然上人の年忌法要に限って「御忌」という言葉を使ってよいと、天皇からお許しも出ています。

浄土宗には総大本山が全国に八つありますが、その本山でそれぞれ、この御忌の法要が毎年厳修されています。今年も昨年の東日本大震災で一年延期された法然上人の八百回忌の法要となりました。

増上寺では四月に入ってからすぐに関東の大本山、鎌倉・光明寺(この本山は法然上人の孫弟子にあたる良忠上人が関東の浄土宗の拠点として開いた古刹です)、長野・大本願(有名な長野善光寺参道にある尼僧さんが住職となるお寺で善光寺を支えています)の両台下をお迎えし、増上寺台下との三台下による大法要が執り行なわれました。桜満開となった増上寺の境内は多くの参拝者で溢れました。

また、四月中旬には、梅窓院住職と縁の深い京都の大本山清浄華院でも御忌法要が厳修されました。このどちらの御忌にも梅窓院住職は随喜されたり、お役を果たされました。加えて四月十九日には、住職が総本山知恩院から長老を叙任されました。

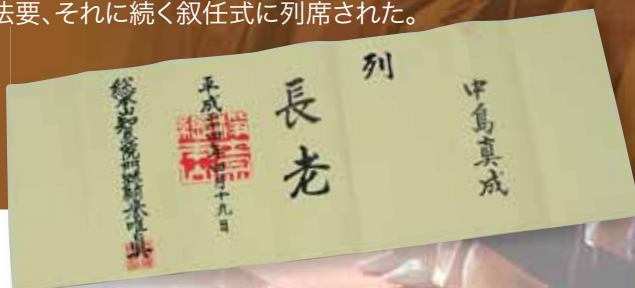
さて、法然上人の年忌法要がこうして八百年という長い年月、途絶えることなく続いているのはどうしてでしょうか。みなさんはその理由を考えられたことがあるでしょうか。

——念仏を称えればどんな人でも阿弥陀様が救ってくださる。そして往生するのに、男性と女性の区別もない——

## 知恩院「長老」叙任式

浄土宗総本山知恩院では毎年知恩院に功績のあった上人に長老、宿老、耆宿という待遇叙任を行なっている。全国の浄土宗教師の中で知恩院に貢献した僧侶に知恩院での特別な待遇を与えるものだ。

梅窓院中島住職は長老を叙任され、4月19日の逮夜法要、それに続く叙任式に列席された。



長老の功績状を知恩院門主の

猊下

より手渡された。





4月1日から11日まで続いた増上寺の御忌法要。三台下は写真右奥が光明寺法主 台下、中央が増上寺法主 台下、左が善光寺法主 台下。



台下。



台下。



台下。



増上寺の御忌は大門から本堂までお練り行列が有名で、随喜する僧侶も七条袈裟で一緒にお練りする。



平安末期にこうした教えを広められ、鎌倉仏教の先駆者となった法然上人の想い、みなさんもその教えや魅力をもう一度見直してみてください。



京都の清浄華院ではかつて中島住職が御忌の称讃導師を務めたことから毎年、御忌のお手伝いをされている。典調ひんぎょうという役につかれています。



昨年3月11日、東日本を襲った大震災で岩手の沿岸を大津波が襲った。陸前高田に住まいを構えていた さんご夫妻も津波にのまれ全壊流失。命からがら津波から逃れることができ、現在は盛岡の近くのご長男の家に住まわれている さんご夫妻にお話を伺った。

◆被災から1年、まだまだ復興には遠いかと思いますし、つらい記憶をたどっていただくことになりますが、よろしく願いいたします。

夫妻(以下 ) いいえ、わざわざこんな遠くまで足を運んでいただき、御苦労さまです。

◆ご長男と同居と伺っていたのですが、こちらの家にお2人でお住まいですか。

はい、うちは長女が東京、次女が熊本におりまして、長男がここ岩手町(盛岡駅からいわて銀河鉄道で北へ約30分のいわて沼宮内駅付近)に住んでいるのですが、幸い売り出しにでていた2軒並びの官舎を長男が購入していて、一軒は貸していたのですが、借り手に事情を話したところ、私たちのために空けてくれました。震災から3カ月目にはここに引っ越すことができましたのです。

◆そうですか、それは何よりですね。

ええ、被災直後は命からがら避難した中学校で3週間過ごし、その後は仮設住宅でしたが、私たちと違い家族全員が陸前高田で生活していた人たちは帰る場所がありませんから……。避難所だった中学の仮設住宅には、知り合いが今も生活しています。

◆震災の時はどちらにいらしたのですか。

普段はお互い、ボランティアやお茶のお稽古で出かけていることが多いのですが、たまたま二人とも家にいました。数日前にも大きな地震がありましたが、11日の揺れは特別で……。

◆すぐ避難されたのですか。

ええ、女房は足が悪いものですから、近くの知り合いに手を貸してもらって、避難所になっていた近くの公民館に逃げました。幸いにも女房がいつもは持たない携帯電話、通帳、現金などを手提げかばんに詰め込んでくれたので、後でとても役立ちました。

◆奥様、その時はどんなお気持ちでしたか。

何かを考えるとか思うとか、という状態ではありませ

海岸に沿いし  
松の木七万本  
流さるなかに  
残る一本



1年以上経っても、まだ更地にがれきの山が残る陸前高田。写真の松は奇跡の一本松。この写真を見て さんがこんな歌を詠んでくれました。

ん。無我夢中でしたが、不思議なことにいつもは持たないものまで入れていたのは幸運でした。

◆避難所の公民館は近くだったのですね。

ええ、でも大きな津波になるかもしれないという連絡がきて、ここも危ないから丘の上にある中学校に急いで逃げろ、ということになったのです。急な坂を上った高台の学校で、女房は二度転んで顔を地面にぶつけました。

◆ようやく身の安全が確保できたのですね。

はい。でも避難の途中で、2階なら大丈夫と親を置いてきた人や、貴重品を忘れた人など自宅に戻った人もいて、その方たちは津波にのまれてしまいました。

お聞きになっていると思いますが、避難所に指定されていたところも津波にやられてしまったので……。

幸い二人とも家にいて、しかもその家から避難所の公民館が近く、さらにその公民館から高台の中学校が近かったので助かったのです。もし海の近くに住んでいたら、津波から逃れられなかったでしょう。

◆避難時はいかがでしたか。

初日の夜は学校のカーテンで寒さを凌ぎ、翌日の夕方におにぎりが一個配られました。三日後には衛星電話がつながり、順番で交換手に伝えたい二、三言をメモして、それを電話で伝えてもらうのですが、長女に電話してもらった時、メモし忘れた「うちは全部ながされた」ことを叫んだのが、うまく聞こえたらしく、再会した時に、あの声が聞こえてお母さんが元気とわかり安心したのよ、と言われました。

◆ちなみに義捐金や支援金はもらわれているのですか。

今年に入って陸前高田の役所から5万円もらいました。役所もすべて流されてしまい、まだ混乱は続いています。でも、一番親切だったのは農協でしたね。

◆ さんは、この『青山』に投句されていますね。

ええ、書くことが好きでして、陸前高田の唄を作詞して、プロに作曲してもらっているのです。今手元にあるのは子供たちに送ったもので、それ以外は一切流されてしまいましたから。女房もお茶の先生でしたが、道具は何も残っていません。

◆何もかもさらわれてしまったのですね。

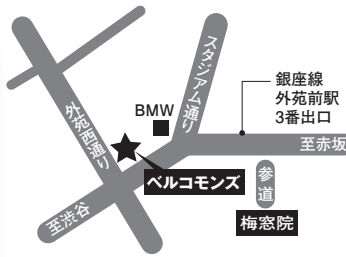
大切なもの仲間も無くしましたが、今はこの町の唄を作ったり、俳句の会に入ったりして、新しい人生を楽しめるよう二人で励ましあっています。

◆本日は貴重なお話をありがとうございました。

昭和5年生まれのご主人が中学校の先生の時、同じ先生で二つ年上の奥様に求婚、歳の差を気にする奥様を口説いて30歳の時に結婚、以来陸前高田に住んでいる。ご主人は短歌の講師や俳句の会を主催、奥様はお茶の先生をされるなど多芸多才のご夫婦。

## 青山ベルコモンズ5階

今回は青山通りとキラード通りの交差点のシンボルともいえる青山ベルコモンズを訪れました。五階食堂階には四つのお店があります。



インド人シェフならではの十六種のスパイスを使った「インドカリダイニング コバラヘッタ」は入りやすい雰囲気、コバラヘッタ コリアンダイニングは韓国から食材を取り寄せる本格派。そばと日本酒を楽しめるのが売りという日本そば「そば酒房 匠和」は三時にはお茶と和風スイーツも楽しめます。また、二

十五年前からここにお店を構える老舗「しゃぶ亭 KOBAYA」は一人でも美味しいお肉を楽しめるカウンター席中心の名店。どの店も個性溢れるお店で味も折り紙つき。昼も夜も楽しめるフロアです。

### 営業時間

11:00~22:00  
(L.O.21:30)  
ランチタイム  
11:00~17:00  
ディナータイム  
17:00~22:00



インドカリダイニング  
Cobara-Hetta

ランチ限定:  
3種のカープレートセット。



### 営業時間

11:00~23:00  
(L.O.22:00)  
ランチタイム  
11:00~17:00  
ディナータイム  
17:00~23:00



ランチ限定:  
中落ちカルピステーキ丼セット。

コリアンダイニング  
Cobara-Hetta  
コバラヘッタ



そば酒房  
匠和  
SHO WA



▲貝柱のかき揚げ丼ランチ。

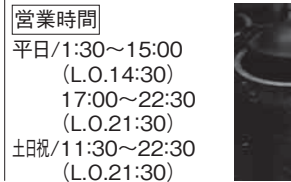
### 営業時間

平日/11:30~23:00  
L.O.22:00  
ドリンク22:30



しゃぶ亭  
KOBAYA

▼霜降牛の特選ランチ。



### 営業時間

平日/1:30~15:00  
(L.O.14:30)  
17:00~22:30  
(L.O.21:30)  
土日祝/11:30~22:30  
(L.O.21:30)

※各店舗の定休日はベルコモンズに準じます。

# 食は命

「レタス」  
天然の熱冷ましシート  
武鈴子  
食養研究家

サラダや肉料理のつけ合わせに欠かせないレタス。夏の暑い盛り、水分たっぷりのレタスは無性においしく感じられます。西アジア、地中海沿岸が原産地とされ、古代ギリシャやローマでは、安眠をもたらす野菜として紀元前から用いられていたといいますが、近年、レタスの芯に含まれるラクチュコピクリンという白い汁に、睡眠ホルモンであるメラトニンと同様の作用があることがわかりました。今から数千年も前にレタスの効能を体験的に感じ取っていたことに驚かされます。

レタスは約95%が水分で、栄養価は高いとはいえませんが、葉膳の視点からは、体の熱を冷まし、炎症を抑え、すぐれた利尿作用があります。気温も湿度も高まる夏場、レタスを食べることで体のほてりが冷め、水分代謝もよくなるわけです。熱が出たときには、枕に敷いて寝るとよいといわれますが、レタスが「天然の熱冷ましシート」になるわけです。ただ、レタスは生で食べると、体を冷やして胃腸の動きが悪くなってしまいますので、特に胃腸が丈夫でない人は、炒めたり、さっと湯通しして適宜切り分け、醤油大さじ1、酢大さじ1、砂糖大さじ半分、ごま油少々、一味唐辛子少々を混ぜ合わせた和風ドレッシングで和えて食べるとよいでしょう。熱を加えてもシャキシャキ感が損なわれないところもレタスのよいところです。定番のサラダだけでなく、チャーハンやスープなどにしてたっぷり夏の味覚を味わいましょう。

## 青山俳壇

選者「ウェブ俳句通信」編集長 大崎紀夫

◎特選  
○善哉を振舞はれるる法然忌

◎入選  
○早曉の春雷鳴れり二つほど  
○掃き終へし庭の静けさ松の花  
○花ぐもり明日の天気のおにかかり  
○天を指す右手濡れづめ甘茶仏  
○春彼岸梅窓院に墓参り  
○窓を開け春の息吹の潮風を  
○今年また花見の旅を幾度も

◎選者詠  
○散るさくら鐘撞き堂を越えにけり 大崎 紀夫  
○フンポイントアドバース  
わたしは俳句でいちばん大切なものは調へだと思っています。というわけで調へのいい俳句を作る俳人が好きで、高浜虚子や久保田万太郎や森澄雄の句集を何度も読み返しています。そうしていると、その作家達の調べがわたしの内に血肉化してくるような気がするのです。みなさんも好きな作家の句集をくり返しくり返し読んでみてはいかがでしょうか。

投句募集 次回は「夏の季語」でご自由にお読み下さい。7月2日を締切り、9月発送の「秋彼岸号」にて発表致します。住所、氏名をお書き添えの上、ご応募下さい。皆さまの投句をお待ちしております。  
〒107-0062 港区南青山2-26-38 梅窓院「青山俳壇」投句募集係

# 行事予定

## 第56回 念仏と法話の会

6月5日(火)  
12時30分より受付開始

## 開山忌法要・能楽奉納

6月9日(土)  
法要 午後3時～  
能楽 午後4時～  
本堂および祖師堂

## 盂蘭盆会法要

7月13日(金)  
午前10時半より 本堂  
※詳細は3面をご覧ください。

# お知らせ

## ●護寺費・年会費・管理費の振込について

平成23年4月ご入金分以降は、「振込控え」を請書の代わりにとさせて頂くこととなりました。ご事情により当院の請書が必要な方は、郵便振替の方は通信欄に、コンビニ振込の方は、お手数ですがお電話かお手紙にてお申し付けください。尚、請書の郵送に4週間程かかる場合がありますので、ご了承ください。(ご持参される方には、これまで同様に請書を発行致します)

## ●梅窓院会計報告について

昨年より会計報告は秋彼岸号に掲載させて頂いております。つきましては9月上旬にお送りする秋彼岸号誌面をご覧ください。

## 平成24年度 前期 仏教講座のご案内

全講座▶午後6時～8時 受講料▶無料 場所▶祖師堂

### 講 題/続・漢詩の中の仏教

講 師/阿川 正賢 先生(浄土寺住職 大正大学講師)

- 第2回… 6月12日(火) 詩人たちと仏教②
- 第3回… 8月9日(木) 詩人たちと仏教③

### 講 題/禅林寺永観律師と法然上人

講 師/新井 俊定 先生(天然寺住職)

- 第2回… 7月31日(火) 永観律師の教え
- 第3回… 9月11日(火) 永観律師と法然上人

### 講 題/大乘仏教を読む

講 師/勝崎 裕彦 先生(香蓮寺住職 大正大学仏教学部長・教授)

- 第1回… 6月21日(木) 華嚴経の古訳経典
- 第2回… 7月26日(木) 華嚴経を読むV —『兜沙経』と『菩薩本業経』①
- 第3回… 8月23日(木) 華嚴経を読むVI —『兜沙経』と『菩薩本業経』②

### 講 題/法然上人のみ教え —『選択集』を読む—

講 師/林田 康順 先生(大正大学准教授、大本山増上寺布教師、慶岸寺副住職)

- 第3回… 6月25日(月) 『選択集』第4章③ —三輩と九品について—

### 講 題/ブータンから学ぶ幸福のカタチ

講 師/本林 靖久 先生(真宗大谷派僧侶 大谷大学・佛教大学講師)

- 第2回… 7月6日(金) 民話にみる幸福な生き方とは
- 第3回… 9月7日(金) 持続可能な観光のあり方とは

## 我が家の宝物!

左/ くん(13歳)・右/ ちゃん(8歳)

### 投稿者より

くんは今年中学生になりました。小さいころより気持の優しい子供で妹の ちゃんの生まれるころはとても楽しみに心待ちにしていた子でした。 ちゃんのことを可愛くて今でもいいお兄ちゃんぶりを発揮しています。兄から教えられるものが大きいです。孫の成長が楽しみです。(祖父母)

### 編集部より

素敵な家族写真ですね!

**お写真大募集!!** お孫さんと一緒のお写真と推薦者のおじいちゃん・おばあちゃんのコメント(30～150字程度)を青山文化村までお送り下さい。お孫さんのお名前、お年も忘れずに。(お送り頂いたお写真は返却できませんので予めご了承下さい)掲載させて頂いた方には梅窓院煎餅を差し上げます。

〒107-0062 港区南青山2-26-38 青山文化村「我が家の宝物」募集係

## ♪ コンサートのお知らせ ♪

梅窓院にて定期的にフルート教室を開催されている先生主催のフルート2本とピアノのアンサンブルコンサートです。ご興味ある方は以下へお問い合わせください。 ※梅窓院主催ではございません。

日時: 平成24年6月23(土) 時間: 13:30開場 14:00開演  
会場: 梅窓院 地下1階 講堂 定員: 30名程度  
問合わせ: 080(5183)7373 浅野/046(291)2441 杉田



## 秋 彼岸写真展開催



春彼岸号よりお伝えして参りました秋彼岸写真コンクールの応募要項を同封致しました。是非皆様ご参加下さい。

発行/梅窓院  
発行日/平成24年6月1日  
発行人/中島 真成  
編集/青山文化村  
住所/〒107-0062  
東京都港区南青山2-26-38  
電話/03-3404-8447  
FAX/03-3404-8446  
ホームページ/http://www.baisouin.or.jp/  
E-Mail/jodo@baisouin.or.jp  
題字/中村康隆元浄土門主  
総本山知恩院第八十六世門跡